

関係各位

共同研究室運営委員会委員長 森田 隆

担当: 検校 (3958)

日頃より、共同研究室の運営にご協力いただきありがとうございます。本年度も大型機器申請を開始いたしますが、申請に際しまして、抱き合わせ等で、以下の機器のご検討をいただきたく、共同研究室において 耐用年数を越えている機器及び更新が必要と思われる機器をお知らせいたします。参考にしていただければ幸いです。よろしくお願い致します。

## 機器更新希望リスト

	更新希望機器	現有機器 (年度) (設置場所)	機器の状況
1	凍結切片作製装置 クリオスター NX50H マイクロエッジ・インスツルメント	クリオスタット MICROM HM560E (H17 年度) (13F)	経年劣化のため故障・トラブルが多発している。
2	プレートリーダー(モノクロメータ) EnSightPerkin Elmer	マルチプレートリーダー ARVO SX (H10 年度) (16F)	納入より 16 年が経過し本体も PC も経年劣化してきている。装置の一部機能は故障により使用不可能、非常に使用頻度の高い機器であるが、代替機器は存在しない。
3	自動細胞解析装置 BD Accuri C6 (2 レーザー4 カラー) 日本 BD	自動細胞解析装置 FACS Calibur HG 日本 BD (1 レーザー3 カラー) (H10 年度) (15F)	PC・本体の経年劣化が激しい。接続プリンター・MO が入手不可。後継の LSR II も 14 年目に入り、こちらも経年トラブルが多発しているため。
4	クライオマイクロトームシステム ・ウルトラカット UC7i ・凍結切削システム FC7	ウルトラマイクロトーム ULTRACUT UCT (H10 年度) (1F)	常温切削のウルトラマイクロトームが 2 台あるが、凍結超薄切片作製には対応していない。
5	透過型電子顕微鏡 H-7500 用 デジタルカメラシステム ・AMT 社製カメラ XR81S-B(サイトマウント 8M) ・HP PC WorkStation Z230	透過電子顕微鏡 H-7500 (H10 年度) (1F)	画像取得は、ネガフィルムでの撮影で行われている。現像処理に時間がかかり、フィルム価格高騰によるコスト高となっている。